

農政の動き 2016年1月15日～1月21日

◇関東・東北豪雨 農林水産被害は約500億円◇

農林水産省は、「平成27年9月関東・東北豪雨」の農林水産被害状況を更新し、被害総額が499億円に上ったと発表した。農業分野は332億円で、農作物の損傷が74億円、農業用施設の損壊が173億円など。(2016年1月15日)

◇15年産米 12月の相対価格は1万3245円◇

農林水産省は、2015年産米の12月の相対取引価格(全銘柄平均)は、前月比0.2%高の60^キ当たり1万3245円と発表した。2カ月連続の微増で、前年同期比では9.1%高い。(15日)

◇韓国の口蹄疫 感染拡大の懸念◇

韓国政府は、全羅北道の養豚場で口蹄疫が発生したと国際獣疫事務局(OIE)に報告した。11日の発生(全羅北道の養豚場)に続き2例目。韓国政府は13日に発生を確認し、当該農場の豚約1万頭を殺処分したが、感染拡大が懸念されている。(18日)

◇民主党 TPPで政府批判の中間報告◇

民主党は19日の「次の内閣」会合で、環太平洋連携協定(TPP)の大筋合意は農業や自動車分野で「国益が守られたとは評価できない」と政府を批判する中間報告を了承した。(19日)

◇訪日外国人の消費額 初めて3兆円を突破◇

観光庁は、2015年の訪日外国人旅行者の消費額が前年比71.5%増の3兆4771億円で、初めて3兆円を突破したと発表した。訪日外国人数が前年比47.1%増の1974万人となり、1人当たりの旅行支出も平均で16.5%増の17万6千円となった。なお、国籍・地域別の旅行者数は、中国が499万人で最も多く、韓国400万人、台湾368万人、香港152万人と続く。(19日)

◇TPP参加12カ国 来月4日に署名式◇

環太平洋連携協定(TPP)交渉参加12カ国は来月4日にニュージーランドの最大都市オークランドで署名式を開くことを決めた。併せて閣僚会合も開催する。昨年10月の大筋合意の後、協定文の調整が続いていたが、署名によって最終合意となり、内容が確定する。(21日)

◇TPP法案 農業は4法の一部改正を予定◇

自民党は農林関係合同会議を開き、農林水産省から今国会の提出予定法案を聴取した。農業分野は、政府が一括で提出するTPP関連法案の中で、4法の一部改正を予定する。具体的には、①肉用牛肥育経営安定特別対策事業(牛マルキン)の法制化に必要な「畜産物の価格安定に関する法律」②甘味資源の安定供給を図るための「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」③それら2法案にかかる「独立行政法人農畜産業振興機構法」④海外での地理的表示(GI)を保護するための「特定農林水産物の名称の保護に関する法律」——について、必要な見直しを措置する方針。(21日)